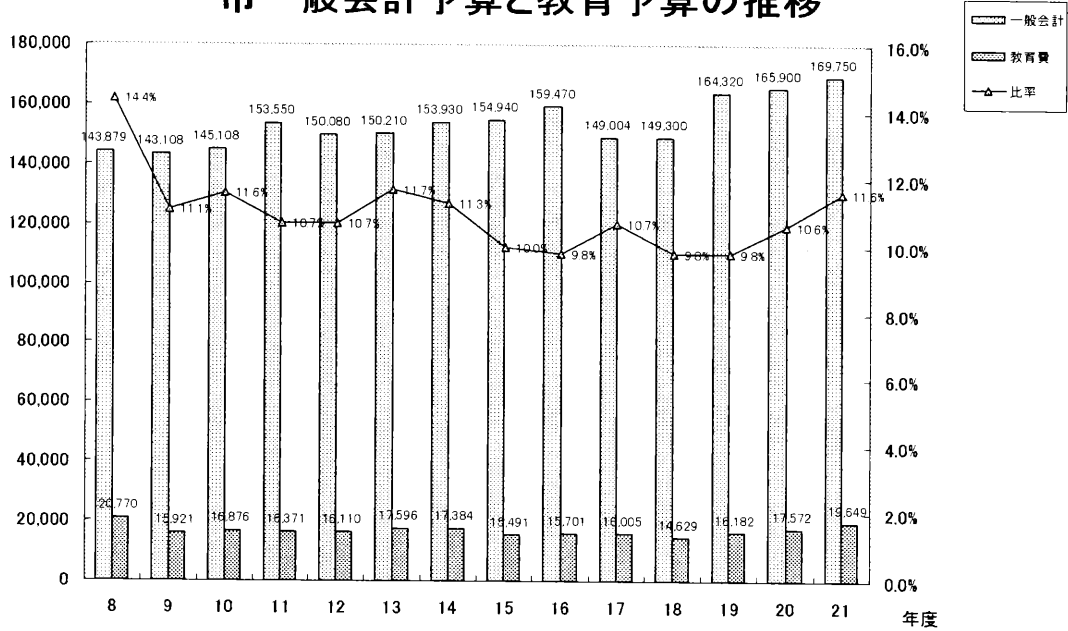


参考資料

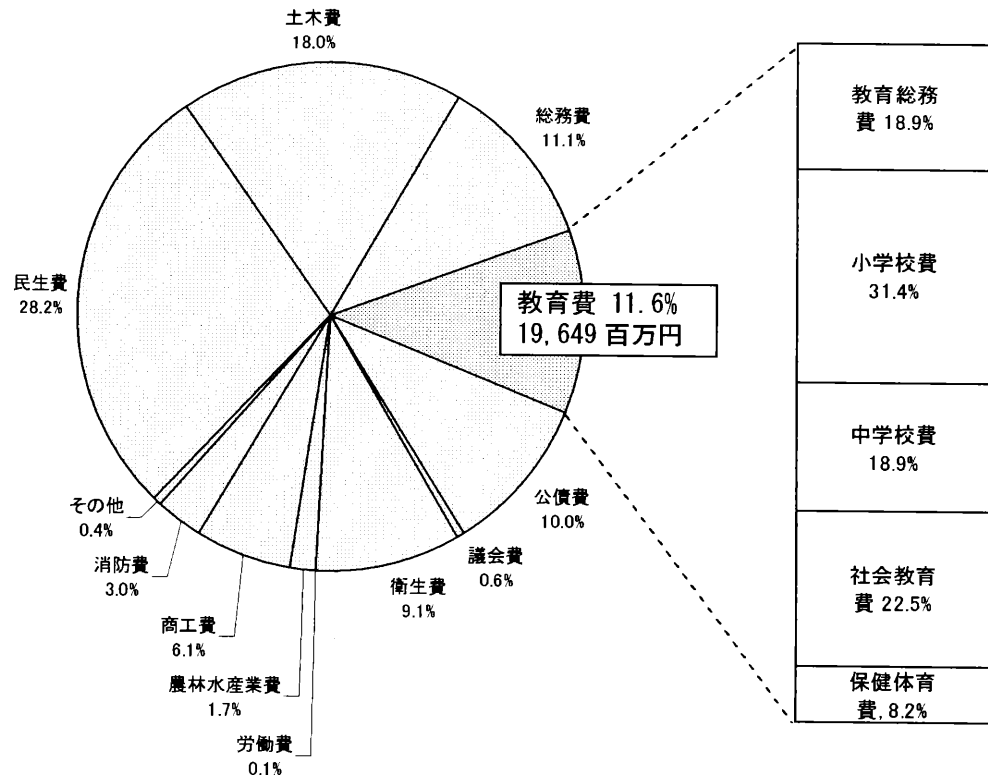
1 一般会計予算と教育予算

百万円

市一般会計予算と教育予算の推移



市一般会計予算と教育予算の内訳



2 施策評価表

施策の大綱：市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために

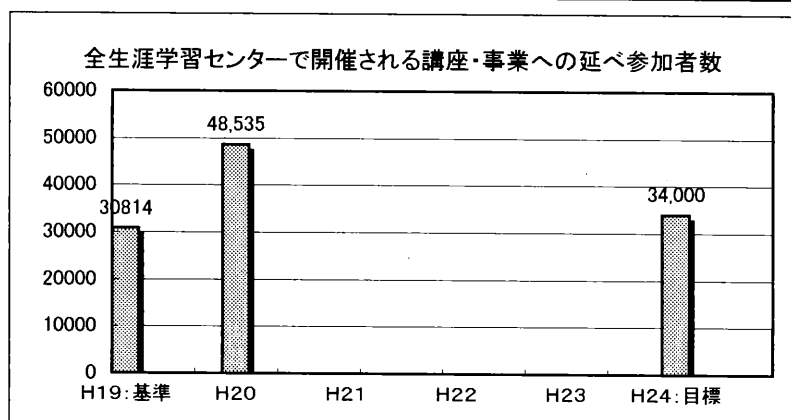
番号	基本施策 4	施策 1.5	主要事業	頁数
1	1 生涯にわたる学習活動を促進する	① 社会をつくる人づくりの推進	成人対象事業 青少年対象事業 人づくりビジョン推進事業 子ども情報センター事業 成人式の開催	33
2		② 家庭・地域の教育力の向上	家庭教育対象事業 家庭の教育力向上事業の推進 地域の教育力向上事業の推進 放課後子ども教室推進事業 子どもの家・留守家庭児童会事業 子どもの家建設・整備費	34
3		③ 生涯学習活動への支援充実	(仮称)第3図書館建設整備事業 生涯学習ボランティア養成事業 人財かがやき支援事業 市図書館と学校図書館のネットワーク事業 図書館情報提供システムの整備	35
4	2 信頼される学校教育を推進する	① 学力向上の推進	学力向上推進事業 外国語指導助手派遣 外国人児童生徒の日本語指導事業 研究学校支援事業(小学校) 研究学校支援事業(中学校)	36
5		② 豊かな人間性と健やかなからだの育成	学校教育における食育推進事業 うつのみや元気っ子プロジェクトの推進 部活動の推進 「宮っ子すくすくノーケータイプラン」の推進 いじめゼロ運動の実施 教育相談事業 心の教育推進事業 適応支援教室事業	37
6		③ 地域と連携した独自性のある学校経営の推進	いさいき学校プラン推進事業 魅力ある学校づくり地域協議会推進事業 学校マネジメントシステムの推進 小中一貫教育の推進 小規模特認校事業	38
7		④ 教育環境の充実	校舎耐震化推進事業 体育館耐震化事業 校舎大規模改造事業 体育館・武道場整備事業 教室用パソコン整備事業 リフレッシュスクール事業	39
8		⑤ 特別支援教育の充実	特別支援教育事業 身体障がい支援事業 就学指導事業 就学見検査費 専門家チームによる巡回相談事業	40
9		⑥ 高い指導力と情熱をもつ教職員の育成	教職員研修事業 情報教育システム事業	41
10		⑦ 幼児教育の充実	幼・保・小連携事業 子育てランド事業補助金(子ども部) 幼稚園就園奨励費補助金(子ども部) 幼稚園運営費補助金(子ども部)	4.2
11		⑧ 高校・高等教育の充実	奨学金貸付事業 宇都宮大学教育学部連携事業負担金 市民大学運営協議会交付金	4.3
12	3 個性的な市民文化・都市文化を創造する	① 文化活動環境の充実	うつのみや百人一首市民大会交付金 宇都宮エスパー文化振興事業 うつのみやジャズのまち委員会交付金 妖精資料活用事業 文化会館事業 美術館事業	4.4
13		② 文化的資源の掘り起こし、保存、継承	宇都宮伝統文化継承事業 上神主・茂原官衙遺跡発掘調査事業 上神主・茂原官衙遺跡公有地化事業 文化財周知啓発事業 文化財調査事業	4.5
14	4 生涯にわたるスポーツ活動を促進する	① スポーツ活動環境の充実	総合型地域スポーツクラブの育成 総合型地域スポーツクラブ活動支援補助金 スポーツ施設等の整備 ジャパンカップサイクルロードレースの開催 体育文化振興公社運営補助金	4.6
15		② スポーツを支える人材の育成、団体の活性化	体育指導委員の育成 宇都宮市体育指導委員会補助金 宇都宮市体育協会育成補助金 少年スポーツ指導者の育成 上河内体育協会補助金 河内体育協会補助金	4.7

施 策 評 価 表

施 策 名	社会をつくる人づくりの推進
施 策 の 目 標	一人ひとりが人間力を向上させ、よりよい地域社会をつくるために貢献しています。
施策を取巻く環境	急激な社会環境の変化に伴い、市民のライフスタイルや価値観などが多様化している現代において、地域社会に貢献する人材を育成するために、様々な学習ニーズに対応した魅力ある講座等の企画や家庭、地域、学校、企業等と行政の連携による社会全体での人づくりの取組などが求められている。
施 策 所 管 課	教育委員会 生涯学習課

◆施策指標の達成状況

施 策 指 標	基 準 年 実 績 対 前 年 目 標 年 次	(H 1 9 年 度)	(H 2 0 年 度)	比 増 減	(H 2 4 年 度)
全生涯学習センターで開催される講座・事業への延べ参加者数		30,814 人	48,535 人	➡	34,000 人
				➡	



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	成人対象事業	S24	講座数	54	29	継続
2	青少年対象事業	S24	講座数	11	13	継続
3	人づくりビジョン推進事業	H18	地域、企業等出前講座回数	10	11	継続
4	子ども情報センター事業	H13	情報誌発行回数	3	3	継続
5	成人式の開催	H13	成人式出席率	73.6	73.8	継続

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	55,856 千円
	平成20年度:総事業費	55,717 千円

◆施策の評価

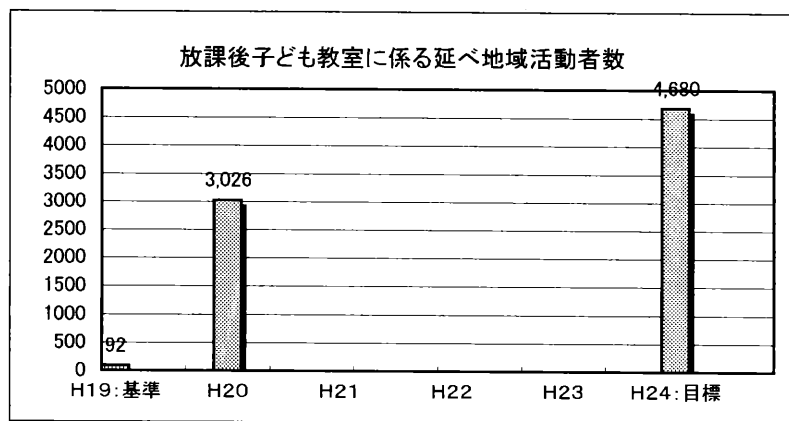
施策評価	達成度(単年度目標)	● 達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	● 十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	● 十分である	やや不十分である	不十分である

施策評価表

施策名	家庭・地域の教育力の向上		
施策の目標	それぞれの家庭での教育と連携し、地域をあげて子どもを育成しています。		
施策を取巻く環境	核家族化、少子高齢化の進行、価値観の多様化などを背景に、児童虐待やいじめ、青少年による犯罪の増加などの問題が顕在化し、家庭の教育力の低下が憂慮され、家庭の教育力の向上が求められている。また、地域住民の連帯感の希薄化や子どもを狙った犯罪が増加するなど地域の教育力の低下に対する認識も強く、子育て家庭を社会全体で支援し、地域で子どもを育むため、地域の教育力の向上への取組も必要となっている。		
施策所管課	教育委員会	生涯学習課	

◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績年 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数	92人	3,026人	➡	4,680人
			➡	



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	家庭教育対象事業	S24	講座数	24	29	継続
2	家庭の教育力向上事業の推進	H19	親学出前講座実施回数	61	86	継続
3	地域の教育力向上事業の推進	H18	地域教育活動支援研修の参加者数	71	467	継続
4	放課後子ども教室推進事業	H19	宮っ子ステーション実施校区数	2	3	継続
5	子どもの家・留守家庭児童会事業	S41	子どもの家設置力所数	63	65	継続
6	子どもの家建設・整備費	S41	年度ごとの子どもの家整備数	3	3	継続

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度: 総事業費	352,840 千円
	平成20年度: 総事業費	406,674 千円

◆施策の評価

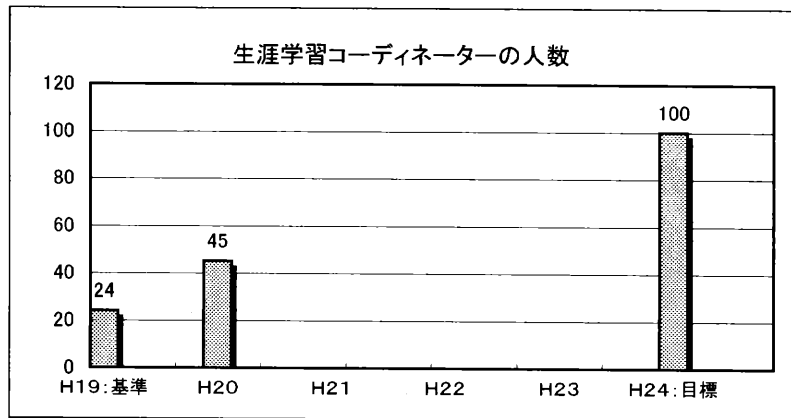
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)		十分である	● やや不十分である	不十分である

施策評価表

施策名	生涯学習活動への支援充実
施策の目標	一人ひとりが、自分にあった学びの機会や場を得て、生き生きと学んでいます。
施策を取巻く環境	これまで学習環境の場や機会の充実に努めてきたが、さらに市民の主体的な学習活動を促進する取組が必要であると共に、体系的・専門的な人づくりを促進するための拠点機能の整備が求められている。また、生涯学習活動をする市民の図書館に対するニーズは高度化・多様化しており、ソフト・ハード両面で充実を求める声が多い状況にある。
施策所管課	教育委員会 生涯学習課

◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績年 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
生涯学習コーディネーターの人数	24人	45人	➡	100人
			➡	



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	(仮称)第3図書館建設推進費	H17	実施設計	-	100	継続
2	生涯学習ボランティア養成事業	H13	コーディネーター養成講座修了者数	8	13	継続
3	人財かがやき支援事業	H20	メッセ出展団体数	-	37	継続
4	市図書館と学校図書館のネットワーク事業	H18	学校希望図書を利用する学校の割合	48.4	93.5	継続
5	図書館情報提供システムの整備	H15	検索数	300,911	405,592	継続

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	1,058,030 千円
	平成20年度:総事業費	756,878 千円

◆施策の評価

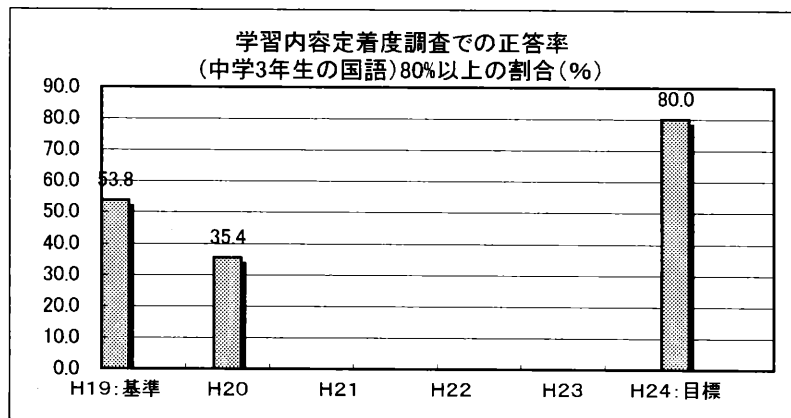
施策評価	達成度(単年度目標)		達成している(90%以上)	●	概ね達成(70~90%未満)	○	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している		横ばい		減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である		不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)		十分である	●	やや不十分である		不十分である

施策評価表

施策名	学力向上の推進
施策の目標	児童生徒が、学ぶ意欲をもち、基礎学力を身に付けています。
施策を取巻く環境	国際的な学力調査の結果などにより学力の低下について社会的な関心が高まっており、ゆとり教育の反省を踏まえた新しい学習指導要領が告示され指導内容及び授業時数の増加が示されるなど、学力向上の取組に関する必要性がより一層高まっている。
施策所管課	教育委員会 学校教育課

◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績年 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
学習内容定着度調査での正答率 (中学3年生の国語)80%以上の割合(%)	53.8%	35.4%	→	80.0%
学習内容定着度調査での正答率 (中学3年生の国語)50%未満の割合(%)	4.7%	12.8%	→	3.6%



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	学力向上推進事業	H18	学習内容定着度調査の実施校数	93	93	継続
2	外国語指導助手派遣	H1	外国語指導助手の派遣中学校数	25	25	拡大
3	外国人児童生徒への日本語指導事業	H4	日本語指導講師派遣回数	1,310	2,372	拡大
4	研究学校支援事業(小学校)	—	研究学校の指定数	32	23	見直し
5	研究学校支援事業(中学校)	—	研究学校の指定数	13	9	見直し

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	97,310 千円
	平成20年度:総事業費	101,886 千円

◆施策の評価

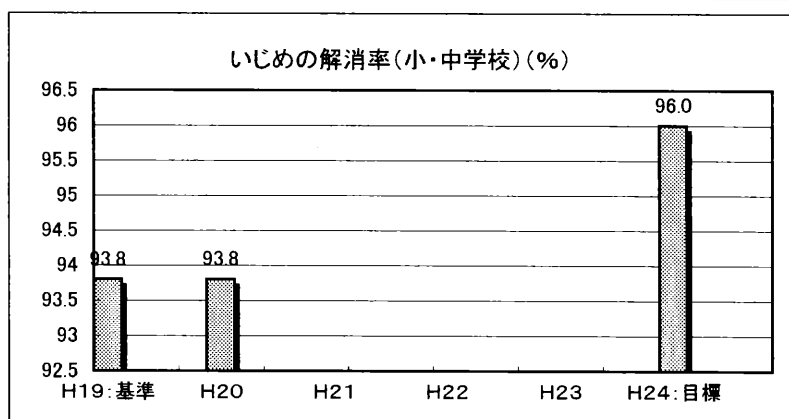
施策評価	達成度(単年度目標)	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	●	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	●	十分である	やや不十分である	不十分である

施策評価表

施策名	豊かな人間性と健やかなからだの育成
施策の目標	児童生徒が、思いやりやたくましい心と体をもち、規範意識をもって生活しています。
施策を取巻く環境	少子化や核家族化の進行に伴う地域の連帯感の希薄化などにより、家庭・地域社会での教育機能が低下する中で、朝食の欠食や食事マナーの低下、体力の低下、不登校児童生徒の増加などの問題が顕在化しており、更なる対応が求められている。
施策所管課	教育委員会 学校健康課

◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績年 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
いじめの解消率(小・中学校)(%)	93.8%	93.8%	→	96.0%
新体力テスト総合評価のS～A段階の割合(中学校3年生)(%)	13.9%	19.2%	→	20.0%



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	学校教育における食育推進事業	H17	生野菜、果物給食の実施校(校)	80	93	拡大
2	うつのみや元気っ子プロジェクトの推進	H18	新体力テストの実施校(校)	93	93	拡大
3	部活動の推進	—	関東中学校体育大会出場者数(人)	151	205	拡大
4	「宮っ子すくすくノーケータイプラン」の推進	H20	携帯電話のフィルタリングの設定率(%)	17	17	拡大
5	いじめゼロ運動の実施	H20	いじめの解消率(%)	93.8	93.8	継続
6	教育相談事業	S59	教育相談室で実施した延べ相談回数(回)	8,595	7,924	継続
7	心の教育推進事業	H13	スクールカウンセラーの派遣校(校)	31	31	継続
8	適応支援教室事業	H6	通級児童生徒の学校復帰率(%)・(部分復帰や中学卒業後の進路決定をきむ)	71	73	継続

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度: 総事業費	489,395 千円
	平成20年度: 総事業費	489,700 千円

◆施策の評価

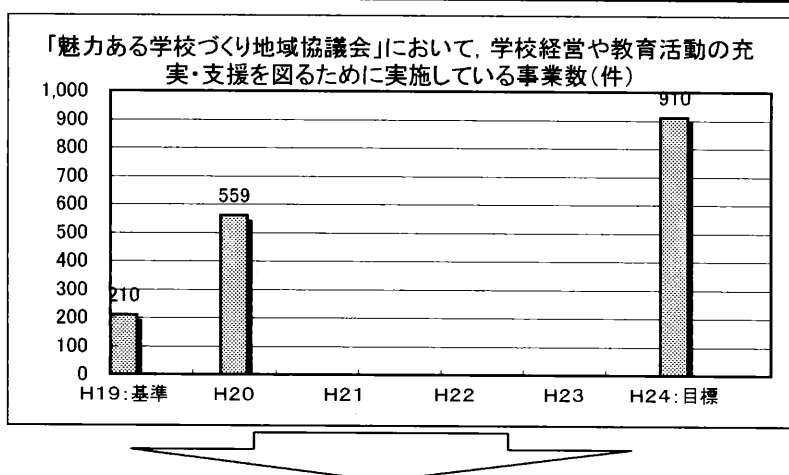
施策評価	達成度(単年度目標)	● 達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	● 十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	十分である	● やや不十分である	不十分である

施策評価表

施策名	地域と連携した独自性のある学校経営の推進
施策の目標	各学校が、家庭や地域、企業と連携・協力しながら、信頼され魅力のある学校づくりを進めています。
施策を取巻く環境	本市においては、地域に開かれた学校づくりを推進しており、改正教育基本法においても学校と家庭及び地域住民がそれぞれの役割と責任を自覚するとともに相互に連携・協力を努めるよう明記されているなど、地域とともに信頼と魅力のある学校づくりを行う必要性が高まっている。
施策所管課	教育委員会 学校教育課

◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績年 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
「魅力ある学校づくり地域協議会」において、学校経営や教育活動の充実・支援を図るために実施している事業数(件)	210件	559件	➡	910件
			➡	



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	いきいき学校プラン推進事業	H18	うつのみや「いきいき学校」プランに基づく取組を実施する学校数	93	93	継続
2	魅力ある学校づくり地域協議会推進事業	H18	魅力ある学校づくり地域協議会設置数	39	91	継続
3	学校マネジメントシステムの推進	H19	学校評価書を外部に公表している学校数	93	93	継続
4	小中一貫教育の推進	—	小中一貫推進に係る会議	5	35	継続
5	小規模特認校事業	H17	小規模特認校入学児童数	36	49	継続

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	36,559 千円
	平成20年度:総事業費	49,476 千円

◆施策の評価

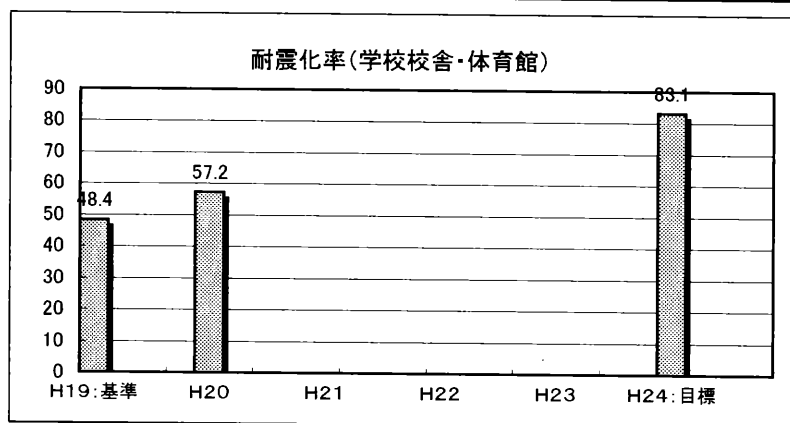
施策評価	達成度(単年度目標)	● 達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	● 十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	● 十分である	やや不十分である	不十分である

施策評価表

施策名	教育環境の充実
施策の目標	児童生徒が、安全で快適な教育環境の中で学校生活を送っています。
施策を取巻く環境	安全性や快適性が確保されていないなど、教育を行う環境の整備が十分でない。 学校が自主自立的に学校運営を行うための財源の不足及び事務負担の増がある。
施策所管課	教育委員会 学校管理課

◆施策指標の達成状況

施策指標	基準 (H19年度)	実績 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
耐震化率(学校校舎・体育館)	48.4%	57.2%	→	83.1%
			→	



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	校舎耐震化事業	H18	耐震補強関連事業実施校	11校	19校	拡大
2	体育館耐震化事業	H19	耐震補強関連事業実施校	3校	13校	拡大
3	校舎大規模改造事業	H12	大規模改造工事実施校	3校	4校	継続
4	体育館・武道場整備事業	—	体育館改築事業実施校(設計、改築、耐力度調査)	3校	9校	継続
5	教育用パソコン整備事業	H18	教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	14.3人	14.3人	拡大
6	リフレッシュスクール事業	H20	普通教室空調設備設置校	0	24校	拡大

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	3,649,369 千円
	平成20年度:総事業費	3,519,834 千円

◆施策の評価

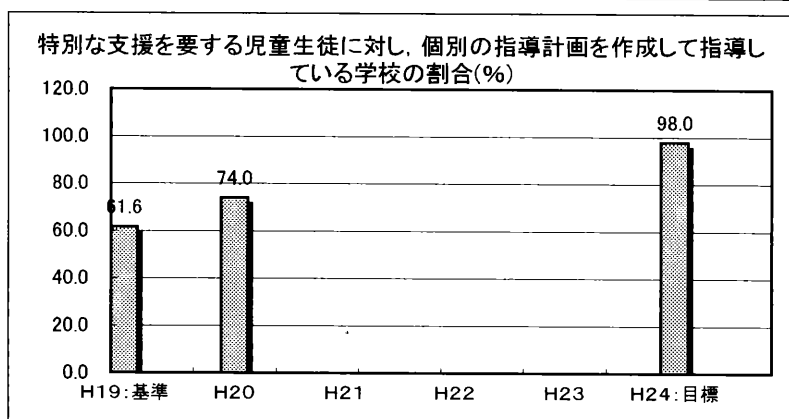
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	●	十分である	やや不十分である	不十分である

施 策 評 価 表

施 策 名	特別支援教育の充実
施 策 の 目 標	児童生徒一人ひとりが、ニーズに応じた適切な教育的支援を受けています。
施策を取巻く環境	特別支援学校入学者や特別支援学級入級者、通級指導教室通級者が増加し、特別支援教育へのニーズが高まっている一方で、20年度世論調査における本市の「特別支援教育」認知度は11%程度であることから、広く一般市民への啓発が必要である。
施 策 所 管 課	教育委員会 教育センター

◆施策指標の達成状況

施 策 指 標	基 準 年 実 績		対 前 年 目 標 年 次
	(H 1 9 年 度)	(H 2 0 年 度)	
特別な支援を要する児童生徒に対し、個別の指導計画を作成して指導している学校の割合(%)	61.6 %	74.0 %	➡
			➡



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	特別支援教育事業	H16	かがやきルーム設置校数	0	31	拡大
2	身体障がい支援事業	H14	生活補助員派遣数	11	11	継続
3	就学指導事業	H15	就学指導委員会の意見を参考に就学した児童生徒の割合(%)	72	71	継続
4	就学児検査費	—	就学時健康診断後の就学相談件数	42	38	継続
5	専門家チームによる巡回相談事業	H10	学校側の要請に応えられた割合(%)	100	100	継続

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	163,308 千円
	平成20年度:総事業費	215,815 千円

◆施策の評価

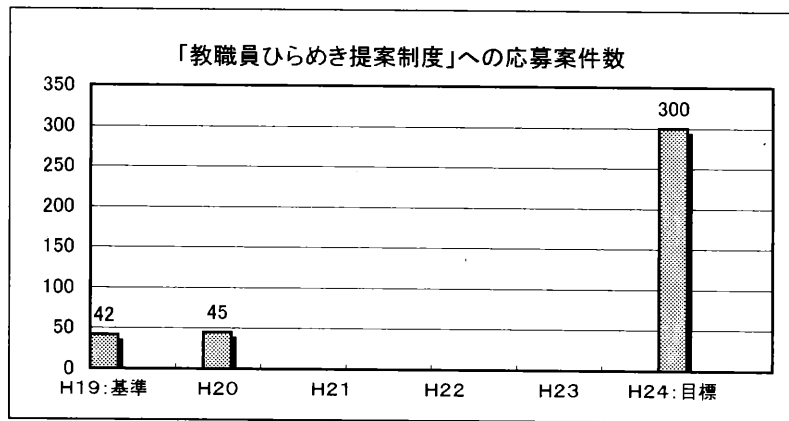
施 策 評 価	達成度(単年度目標)	● 達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	● 十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	● 十分である	● やや不十分である	不十分である

施策評価表

施策名	高い指導力と情熱を持つ教職員の育成
施策の目標	教育への情熱があり、信頼される教職員が育成されています。
施策を取巻く環境	学力や規範意識の低下、いじめ、不登校など、学校教育を巡る問題が深刻化している中、教職員には、様々な教育ニーズに適切に対応するとともに、使命感や専門性を高め、信頼を得ることが求められている。
施策所管課	教育委員会 学校教育課

◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績年 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
「教職員ひらめき提案制度」への応募案件数	42件	45件	➡	300件
			➡	



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	教職員研修事業	H12	全ての教職員研修講座に占める・市教職員研修講座の割合(%)	58%	67%	継続
2	教育情報システム事業	H7	教育情報システム年間アクセス件数	482,430件	685,148件	継続
			情報教育研修への参加人数	897人	729人	

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度: 総事業費	109,239 千円
	平成20年度: 総事業費	120,273 千円

◆施策の評価

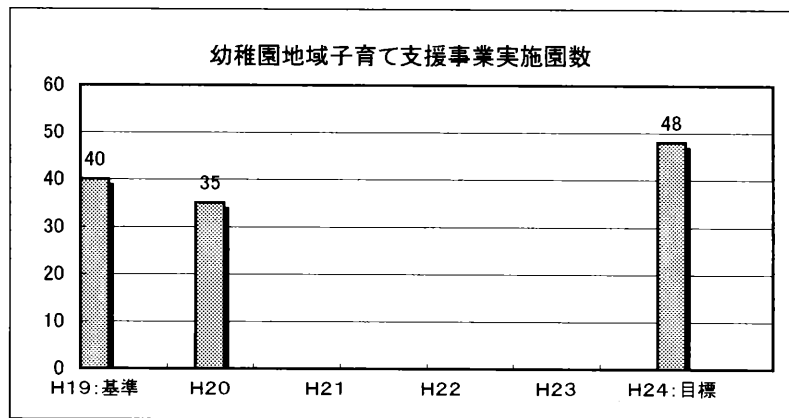
施策評価	達成度(単年度目標)	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	●	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	
効率性(事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある
有効性(政策目標への効果)	●	十分である	やや不十分である		不十分である

施策評価表

施策名	幼児教育の充実
施策の目標	幼児が人間形成の基礎となる適切な教育を受けています。
施策を取巻く環境	幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることから、幼稚園等の教育環境の充実や、小学校教育との円滑な連携を図るなど、幼児教育の充実が求められている。
施策所管課	教育委員会 教育企画課

◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年実績		対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
	(H19年度)	(H20年度)		
幼稚園地域子育て支援事業実施園数	40園	35園	➡	48園
			➡	



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	幼保小連携推進事業	H4	生活科・総合的な学習の時間に幼保小連携事業を位置づけた学校数	68	68	継続
2	子育てランド事業補助金(子ども部)	H13	未就園児親子教室事業などの実施数	135	113	継続
3	幼稚園就園奨励費補助金(子ども部)	S47	対象園児数	10255	10310	継続
4	幼稚園運営費補助金(子ども部)	S44	教職員研修の参加者数	28	48	継続

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	566,385 千円
	平成20年度:総事業費	634,210 千円

◆施策の評価

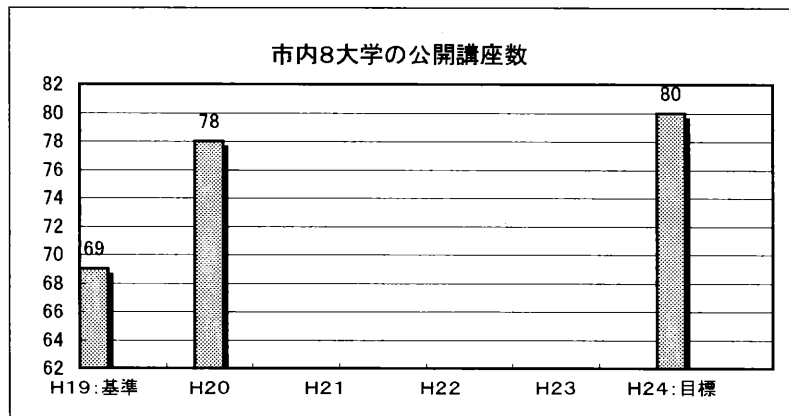
施策評価	達成度(単年度目標)	達成している(90%以上)	●	概ね達成(70~90%未満)	○	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	増加している	●	横ばい	○	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	● 十分である	○	不十分な事業が一部ある	○	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	● 十分である	○	やや不十分である	○	不十分である

施策評価表

施策名	高校、高等教育の充実
施策の目標	市民が自己実現を図るために必要な、高度で専門的な学習機会や場が充実しています。
施策を取巻く環境	市民一人ひとりの自己実現が図られる高度で専門的な学習機会の充実への取組が求められている。
施策所管課	教育委員会 教育企画課

◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年	実績年	対前年 比増減	目標年次
	(H19年度)	(H20年度)		(H24年度)
市内8大学の公開講座数	69 講座	78 講座	➡	80 講座
			➡	



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	奨学金貸付事業	S43	当該年度の貸付者数	672	637	継続
2	宇都宮大学教育学部連携事業負担金	H18	連携協議会、分科会開催回数	10	10	継続
3	市民大学運営協議会交付金(再掲)	H5	講座実施回数	123	135	継続

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度: 総事業費	273,742 千円
	平成20年度: 総事業費	259,024 千円

◆施策の評価

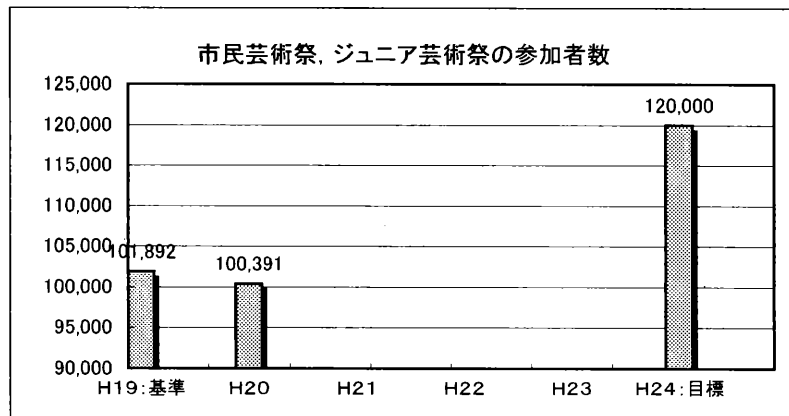
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)		十分である	●	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	●	十分である	やや不十分である	不十分である

施策評価表

施策名	文化活動環境の充実
施策の目標	市民が、主体的に芸術文化活動を展開しています。
施策を取巻く環境	価値観の多様化が進み、「物質的な豊かさ」より「心の豊かさ」を重視する傾向が年々強まっている。このような中、文化は、生活の中にも楽しさや感動を与え、精神的な安らぎをもたらす、社会生活を豊かにするものとして、また、課題解決のための創造力を育み、社会に活力をもたらすものとして期待されている。
施策所管課	教育委員会 文化課

◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績年 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
市民芸術祭、ジュニア芸術祭の参加者数	101,892人	100,391人	➡	120,000人
			➡	



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	うつのみや百人一首市民大会交付金	H7	市民大会、文化講演会開催数	2	2	継続
2	宇都宮エスペール文化振興事業	H13	選考委員会開催数、受賞者の発表数	4	5	継続
3	うつのみやジャズのまち委員会交付金	H13	主催・共催・協賛・後援事業数	18	12	見直し
4	妖精資料活用事業	H16	妖精資料活用事業数	30	51	継続
5	文化会館事業	S54	事業数	34	40	拡大
6	美術館事業	H9	事業数	67	74	拡大

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度: 総事業費	957,683 千円
	平成20年度: 総事業費	952,583 千円

◆施策の評価

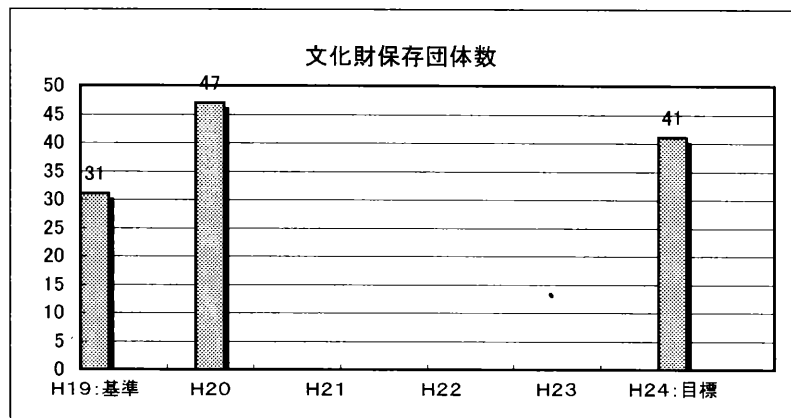
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)		増加している	● 横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)		十分である	● 不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)	●	十分である	やや不十分である	不十分である

施策評価表

施策名	文化的資源の掘り起こし、保存、継承
施策の目標	市民が文化遺産や伝統文化などの文化財を活用し、各々の地域に根ざした文化を守り、伝え、育んでいます。
施策を取巻く環境	市街地の拡大や生活様式の変化により、多くの文化財が失われつつある。このような中、文化財の保存及び活用を図ることにより、市民の郷土愛の醸成や、個性ある地域づくりの具現化など、市の文化向上の基礎となりえる貴重な財産であると期待される。
施策所管課	教育委員会 文化課

◆施策指標の達成状況

施策指標	基準年 (H19年度)	実績年 (H20年度)	対前年 比増減	目標年次 (H24年度)
文化財保存団体数	31 団体	47 団体	➡	41 団体
			➡	



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	宇都宮伝統文化継承事業	H20	伝統文化フェスティバル参加者	12,000	12,000	拡大
2	上神主・茂原官衙遺跡発掘調査事業	H20	発掘調査面積	0	3,000	継続
3	上神主・茂原官衙遺跡公有地化事業	H14	土地購入面積	18,799	7,301	継続
4	文化財周知啓発事業	H3	普及啓発資料の発行部数	3,600	3,600	継続
5	文化財調査事業	S42	発掘調査を行った文化財の件数	47	34	継続

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度: 総事業費	101,849 千円
	平成20年度: 総事業費	75,923 千円

◆施策の評価

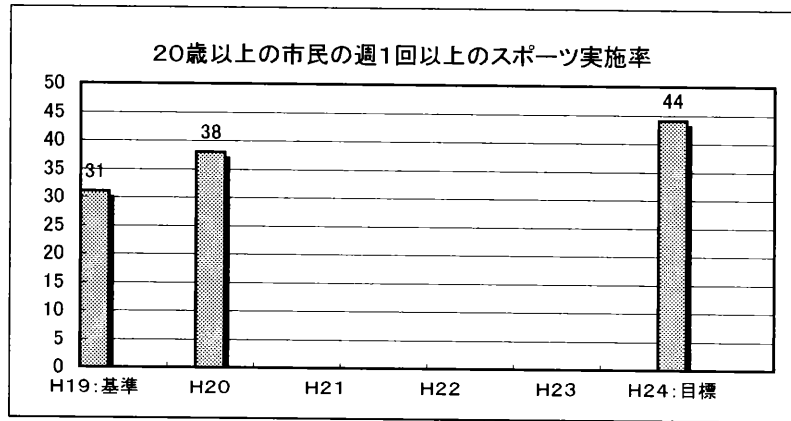
施策評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)		十分である	●	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)		十分である	●	やや不十分である

施 策 評 価 表

施 策 名	スポーツ活動環境の充実	
施 策 の 目 標	市民が主体的に自分に合ったスポーツに取り組んでいます。	
施策を取巻く環境	健康づくりや生きがいづくりなどのため、スポーツの役割は重要になってきていますが、身近な場所でスポーツができる環境が整っていないことやスポーツをするきっかけが少ないことなどにより、市民のスポーツへの取組みが十分でない状況にある。	
施 策 所 管 課	教育委員会	スポーツ振興課

◆施策指標の達成状況

施 策 指 標	基 準 年 実 績		対 前 年 目 標 年 次 比 増 減 (H 2 4 年 度)
	(H 1 9 年 度)	(H 2 0 年 度)	
20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率	31 %	38 %	➡ 44 %
			➡



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	地域スポーツクラブの育成	H14	地域スポーツクラブ会員数	1,567	1,670	継続
2	地域スポーツクラブ活動支援補助金	H14	地域スポーツクラブ会員数	1,567	1,670	拡大
3	スポーツ施設等の整備	—	スポーツ施設利用者数	1,364,496	1,607,000	継続
4	ジャパンカップサイクルロードレースの開催	H4	観客者数	61,000	65,000	継続
5	体育文化振興公社運営補助金	S56	スポーツ施設利用者数	1,132,469	1,335,447	継続

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度:総事業費	626,975 千円
	平成20年度:総事業費	580,575 千円

◆施策の評価

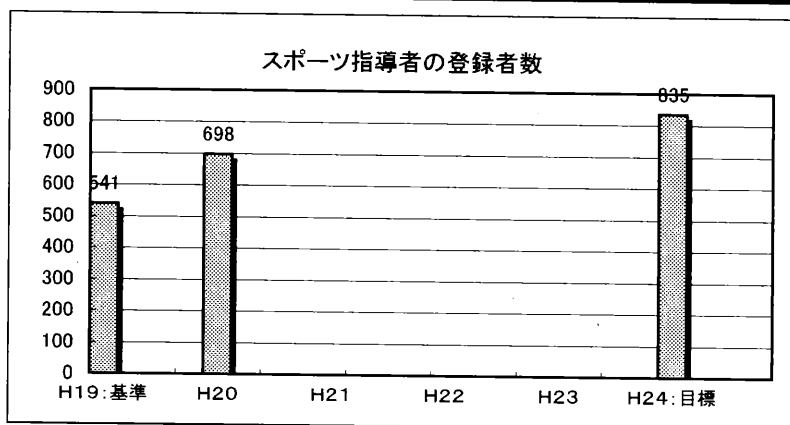
施 策 評 価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)		十分である	● やや不十分である	不十分である

施 策 評 価 表

施 策 名	スポーツを支える人材の育成, 団体の活性化
施 策 の 目 標	市民のスポーツ活動が多くの指導者, スポーツ団体により支えられています。
施策を取巻く環境	市民のスポーツ活動の促進が求められるなか, スポーツ指導者が足りないことやスポーツ団体の活動の硬直化により, スポーツ活動の促進が充分でない状況にある。
施 策 所 管 課	教育委員会 スポーツ振興課

◆施策指標の達成状況

施 策 指 標	基 準 年 実	績 対 前 年	目 標 年 次
	(H 1 9 年 度)	(H 2 0 年 度)	(H 2 4 年 度)
スポーツ指導者の登録者数	541 人	698 人	835 人
		→	→



◆施策目的達成のための主な事業

No.	事業名	開始年度	活動指標等	H19	H20	事業の方向性
				実績値	実績値	
1	体育指導員の育成	S38	研修会参加人数	400	233	継続
2	宇都宮市体育指導員会補助金	S38	研修会参加人数	400	233	継続
3	宇都宮市体育協会補助金	S23	大会・研修会の開催回数	707	730	継続
4	少年スポーツ指導者の育成	S48	指導者数(人)	1,118	1,261	継続
5	上河内体育協会補助金	H19	大会・研修会の開催回数	18	21	継続
6	河内体育協会補助金	H19	大会・研修会の開催回数	20	23	継続

◆施策にかかる経費

施策に要した経費	平成19年度: 総事業費	34,646 千円
	平成20年度: 総事業費	36,465 千円

◆施策の評価

施 策 評 価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
	必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している
	効率性(事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある
	有効性(政策目標への効果)		十分である	● やや不十分である	不十分である